

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 寝屋川市立友呂岐中学校 ] 担当教諭名 [ 細田 英美 ] (美術部 5名)  
 交流相手国 [ キルギス ]  
 海外学校名 [ A. Osmanof ] 担当教諭名 [ Tempilieva B. T / 塙 ゆかり(JICA) ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	自分の国を知ろう、相手の国を知ろう	20
	クラブ活動	国際交流で異文化を理解しよう	20
	クラブ活動	表現することの大切さ	40

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	異文化理解
絵に込めたメッセージ	お互いの文化や遺産を調べ、自分たちが住んでいる場所で何が問題で、何を大切にして生きて行くのかを考え、絵で表現することで自分自身や周囲の人との調和や協調など大切さを学ぶ。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>目的をもって表現するということを学び、自分たちの思いをどう表現するかを考える機会を得た。</p> <p>絵を描くという目的を持つことによって、見知らぬそして全く違った文化や習慣をもった人たちと協力しあえる喜びを感じることが出来た。</p> <p>異文化に接することで、グローバルな考え方に興味関心が生まれた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議を実施出来る環境を整える必要がある。</li> <li>・一回目のテレビ会議時に十分な交流が出来なかった。</li> </ul>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算を頂いているので、学校長による市でのプレゼンを行なっている。</li> <li>・学校のHP、集会などで全生徒や保護者に発表。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のプレゼンでは、「大変良い取り組みである」との評価を受けている。</li> <li>・ここ数年文化祭での展示を行なっているが、生徒からの反響が大きい。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	・インターネットや図書館でキルギスの事やロシア語について調べ始める。	キルギスについて興味津々であったが、情報のなさに少しがっかりしていた。	クラブ活動
情報収集	9月	・インターネットや海外青年協力隊の方からの情報を集める。 ・相手の国からの自己紹介ビデオなどを鑑賞する。	自分たちを相手の国の生徒との生活や文化などの違いを知り、少し戸惑っていたが、フォーラムで海外青年協力隊の方と情報交換することで意欲的な取り組みがみられるようになった。	クラブ活動
テーマ検討	10月	・テレビ会議に向けて、自己紹介のロシア語や自分の表現したいものについての発表のまとめを考える。 ・構図や構想等を話し合う。	・日本の文化にも興味を持ち始め、色々な提案が出てきた。	クラブ活動
制作	11月 12月	・各自の題材をスケッチにし、全体的な構図とのバランスを考える。 ・着色に入る。	・細かい所にも気を配りながら、お互いのスペース等にも配慮しながら、制作を始めた。	クラブ活動
鑑賞	3月	・返却された作品を前にテレビ会議を行ない、お互いの絵についての感想や質問を行なった。 ・全校集会での作品の紹介。	・直接相手から質問したり、感想を述べたりすることで、大きな感動を味わっている様子がうかがえた。	

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自国の文化を紹介するにあたり、調べ学習をする中で自分の知らない新しい日本の良さを発見した。
異文化の理解	A	4	交流相手の文化や生活の違いを肌で感じ、改めて国際化、国際理解というものを実感した。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	3	今回ロシア語、キルギス語を母国語としている人々との交流であったため、英語でのコミュニケーションは皆無であったが、日本語で自分の思いを発表するという意味でのコミュニケーションの力は対阿野ではないかと思う。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	インターネットで情報収集が出来た。テレビ会議で自分の考えや思いを発表できた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	共同作業の中で、お互いに協力しながら作業が出来た。又初めて接する相手の生徒たちとも良い関係をきずけた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	一枚の絵の中にある自分の分担部分と共同作業の部分をお互い協力し合い行った。
学習を追究する意欲	B	4	インターネットや図書館、ビデオなどを通して意欲的に取り組んだ。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	5	一人一人が自分の表現したいこと、伝えたいことをたくさんのアイデアスケッチともに一枚の作品にまとめ上げた。
作品を鑑賞する力	B	4	こちらサイドの表現に対して、見事に対照的な作品を描いてくれたこと絵の称賛や表現力の高さに感動した。